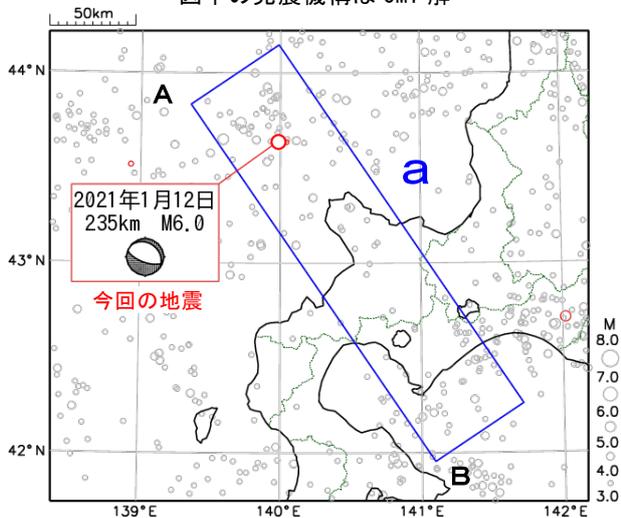


# 1月12日 北海道西方沖の地震

震央分布図  
 (1997年10月1日～2021年1月31日、  
 深さ100～300km、 $M \geq 3.0$ )  
 2021年1月の地震を赤く表示  
 図中の発震機構はCMT解

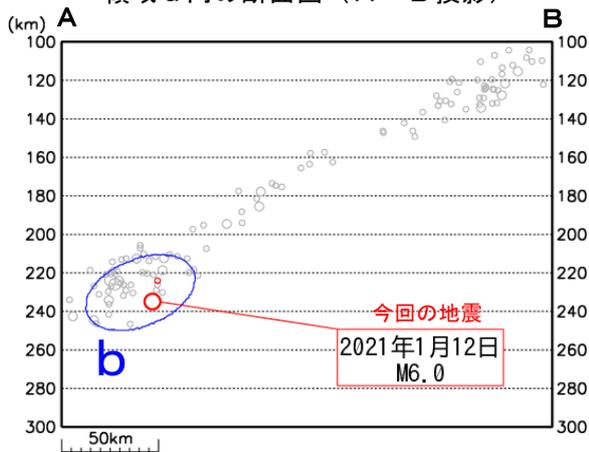


2021年1月12日11時39分に北海道西方沖の深さ235kmで $M 6.0$ の地震（最大震度2）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北北東-南南西方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。

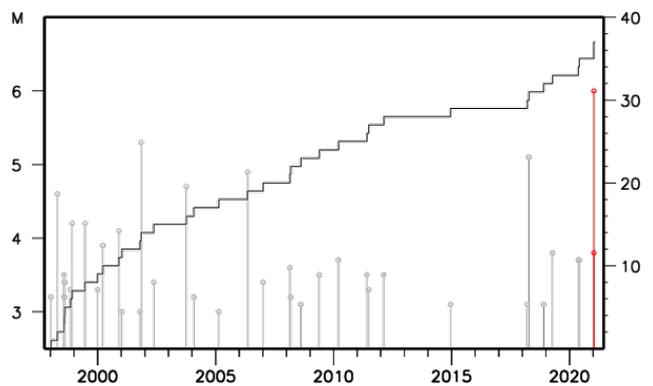
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 6.0$ 以上の地震が発生したのは初めてである。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1940年8月2日の北海道西方沖の地震（ $M 7.5$ 、最大震度4）では、岩内港で83cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、日本海沿岸各地で津波を観測した。この津波により、天塩川河口付近で死者があり、全体で死者10人、流失家屋20棟、船舶流失644隻などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。なお、この1940年の $M 7.5$ の地震は、今回の地震とは異なり、比較的浅い場所で発生した地震と考えられる。

領域a内の断面図（A-B投影）

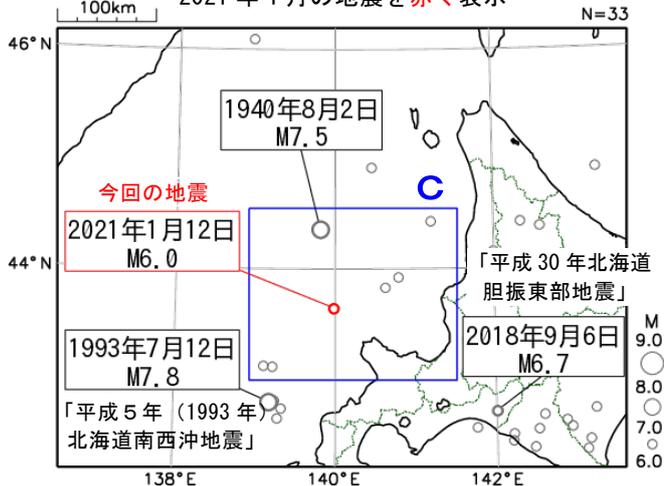


領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1919年1月1日～2021年1月31日、  
 深さ0～300km、 $M \geq 6.0$ )  
 2021年1月の地震を赤く表示



領域c内のM-T図

